

CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Windows インストールガイド

© 2013(Mar) NEC Corporation

- はじめに
- 製品導入の事前準備
- 本製品のインストール
- 本製品の初期設定
- 本製品のアンインストール
- 注意・制限事項

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2012.9	新規作成
2.0	2013.3	「FAQ 集」、「パラメタシート」、「テスト手順書」、「導入ガイド」、「はじめての StorageSaver」新規作成による記載追加

はしがき

本書では、CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Windows（以後 StorageSaver と記載します）のインストール方法および初期設定手順について説明します。

(1) 商標および登録商標

- ✓ Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ Windows Server 2003 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating System です。
- ✓ Windows Server 2008 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 です。
- ✓ Windows Server 2008 R2 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 R2 です。
- ✓ EMC、Symmetrix、CLARiX、PowerPath は EMC Corporation の商標または登録商標です。
- ✓ CLUSTERPRO X は日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ この製品には Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) が開発したソフトウェア (log4net) が含まれています。著作権、所有権の詳細につきましては、StorageSaver をインストール後、以下の LICENSE ファイルを参照してください。
【インストールフォルダ】¥HA¥StorageSaver¥bin¥LICENSE.txt
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1. はじめに.....	1
2. 製品導入の事前準備.....	2
2.1. 準備するもの	2
2.2. 動作要件.....	3
3. 本製品のインストール	7
3.1. インストール.....	7
3.2. インストール後の確認.....	12
3.3. ファイル構成	14
4. 本製品の初期設定.....	15
4.1. 事前準備.....	15
4.2. 設定ファイルの自動生成	15
4.3. 設定ファイルの適用	15
4.4. StorageSaver の起動.....	15
4.5. StorageSaver の監視サービスを起動.....	15
5. 本製品のアンインストール	16
5.1. ファイルのバックアップ	16
5.2. アンインストール.....	17
6. 注意・制限事項.....	19
6.1. 注意事項.....	19
6.2. 制限事項.....	19

1. はじめに

本書は、StorageSaver のインストールおよびアンインストールを行うシステム管理者を対象読者とします。

本書での表記規則について、下記のように定義します。

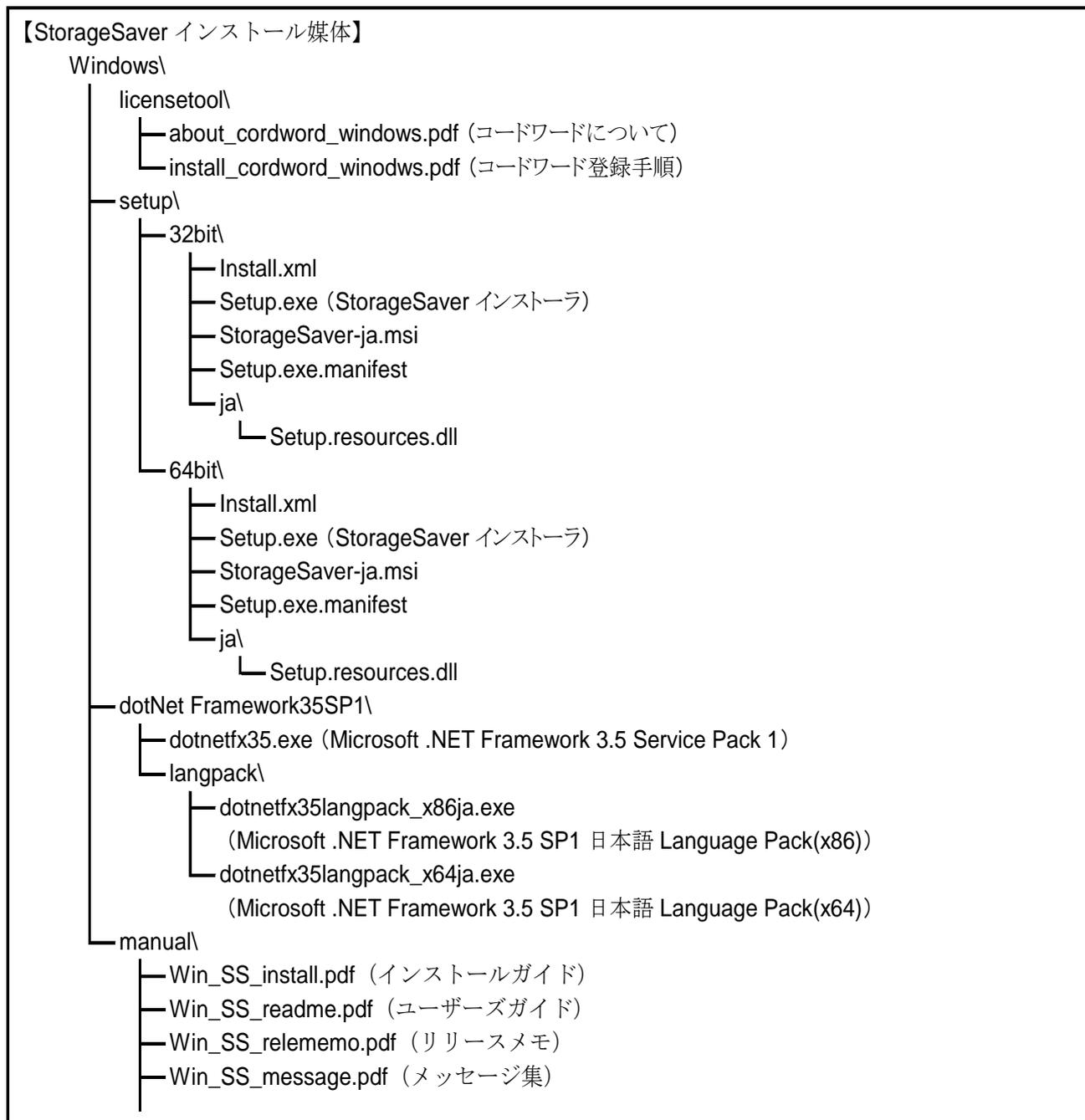
記号表記	使用方法	例
『』	画面名の前後	『プログラムと機能』が表示されます。
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル名の前後	「CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Windows インストールガイド」を参照してください。 「9. メッセージ一覧」を参照してください。
【】	ファイル名およびフォルダ名の前後	【インストールフォルダ】¥HA¥StorageSaver¥conf¥srg.config
[]	項目名の前後	[プログラムと機能] を選択してください。
斜体、太字	ボタン名	OK を押してください。

2. 製品導入の事前準備

2.1. 準備するもの

本製品が含まれるインストール媒体を用意してください。
本製品のインストーラおよび各コンポーネントが、次のとおりインストール媒体に収録されていることを確認してください。

・インストール媒体の構成図



※次ページに続きます。

- Win_SS_parameter.pdf (パラメータシート)
- Win_SS_guide.pdf (導入ガイド)
- Win_SS_tutorial.pdf (はじめての StorageSaver)
- Win_SS_faq.pdf (FAQ 集)
- SS_recovery_hw_error.pdf (ハードウェア障害復旧後の運用手順)
- SS_iStoM_setup.pdf (iStorage M シリーズ使用時の設定手順)

2.2. 動作要件

(1) OS 要件

本製品は下記の OS での動作を保証しています。

事前に OS のバージョンをお確かめのうえ、インストール作業を行ってください。

- Microsoft Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition Service Pack 2
- Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition Service Pack 2
- Microsoft Windows Server 2008 Enterprise (Service Pack 2 を含む)
- Microsoft Windows Server 2008 Standard (Service Pack 2 を含む)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise (Service Pack 1 を含む)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard (Service Pack 1 を含む)

(2) ハードウェア要件

IA32 および x86_64 対応 CPU 搭載サーバ
(FC または SCSI インタフェース接続可能モデル)

- ディスク容量 : 120MB 以上
- メモリ容量 : 90MB 以上
- メモリ使用量参考値(通常時)
- StorageSaver サービス : 約 60,000 KB
- Srgwatch サービス : 約 17,000 KB
- Srgstat.exe : 約 4,700 KB

(3) ソフトウェア要件

本製品の動作環境として Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 が必要となります。本製品を導入する場合は、事前にインストール媒体に同梱している下記ソフトウェアをインストールしてください。

- Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1
- Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack

- 注意
- Microsoft .NET Framework のバージョンは、必ず 3.5 を使用してください。
 - Microsoft .NET Framework 3.5 をインストールしていない状態で、本製品はインストールできません。
 - Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack については、32ビットOS 用と64ビットOS 用の2種類を同梱していますので、それぞれの環境に合わせてインストールを実施してください。
 - 環境により、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 をインストールすると、自動で Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack がインストールされる場合があります。
 - Windows Server 2008 R2 環境では、インストール媒体に同梱しているファイルでの Microsoft .NET Framework 3.5 のインストールができないため、[サーバー マネージャー] の [機能の追加] よりインストールを行います。

•Windows Server 2008 R2 でのインストール手順

[スタート] メニュー – [管理ツール] – [サーバー マネージャー]

上記手順で、[サーバー マネージャー] が表示されるので、[操作(A)] を選択し、表示されたメニューから [機能の追加] を選択してください。



図1 サーバー マネージャー画面

[機能の追加ウィザード] が表示されますので、[.NET Framework 3.5.1 の機能] にチェックを入れ、画面の指示にしたがい、インストールしてください。

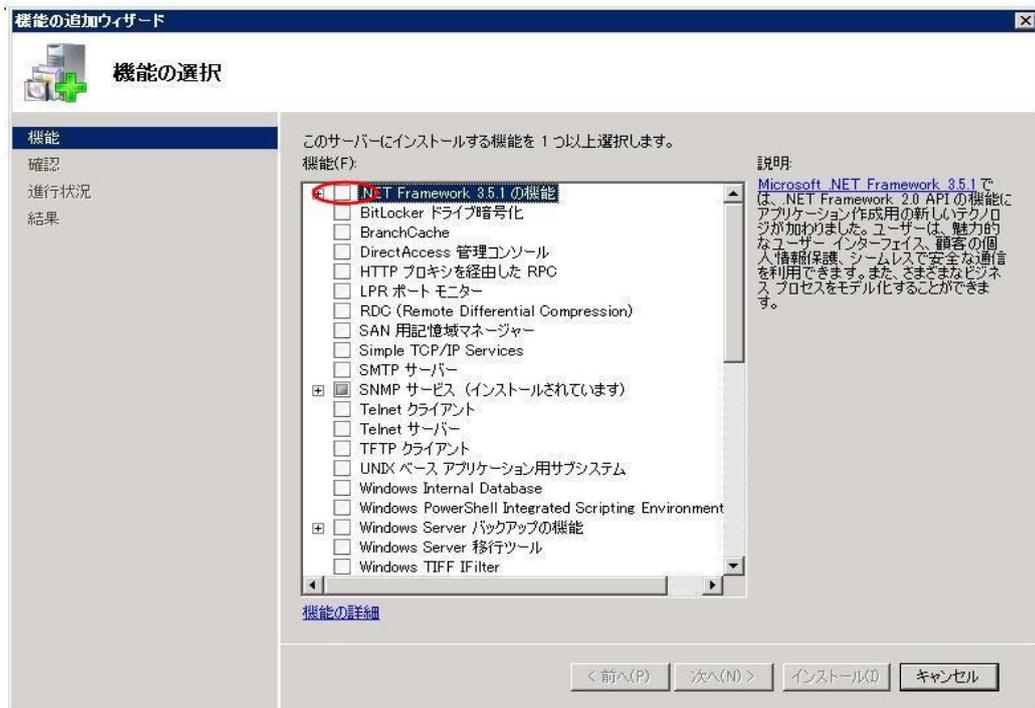


図2 機能の追加ウィザード

.NET Framework 3.5 がインストールされているかどうかは

[機能の削除ウィザード] で確認できます。

[サーバー マネージャー] 画面で、[操作(A)] を選択し、表示されたメニューから

[機能の削除] を選択すると下記画面が表示されます。

[.NET Framework 3.5.1 の機能] がチェックできる場合、インストールされています。

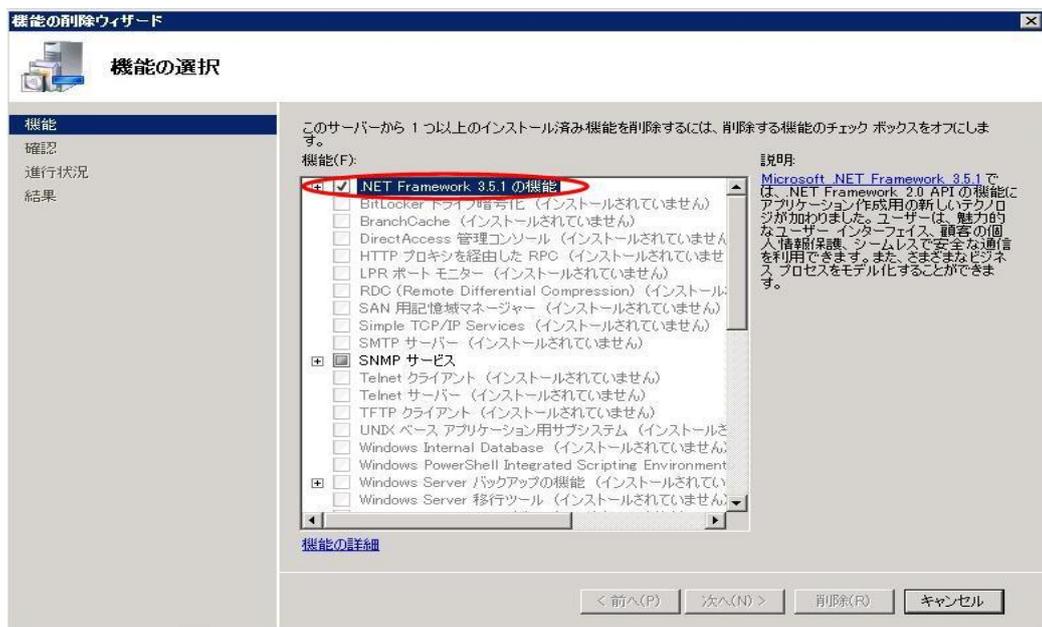


図3 機能の削除ウィザード

本製品を Windows Server 2008 R2 に導入する場合、Microsoft が提供している以下のパッチを適用してください。(2012 年 9 月のパッチ情報です)

パッチ番号: KB2277904

以下の URL からパッチを取得し、適用してください。

<http://support.microsoft.com/kb/2277904/ja>

注意 ・上記パッチを適用せずに本製品を使用することも可能ですが、その場合、srg.config の TestIOModeMPIO には DISABLE を設定してください。パッチ未適用の環境で、TestIOModeMPIO に ENABLE を設定し使用した場合、監視対象ディスクが参照不可能になることがあります。

Windows Server 2008 R2 では、Srgquery コマンドにて自動生成した srg.config の TestIOModeMPIO に ENABLE が設定されますので、パッチを適用しない場合、手動で変更する必要があります。

3. 本製品のインストール

3.1. インストール

本製品のインストール手順について説明します。

注意

- ・インストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。
- ・OS 上に Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていない状態で、本製品のインストールを開始すると、「.Net Framework 3.5 がインストールされていません。」というメッセージが表示されます。その場合は「2.2 章 動作要件」(3) で説明した Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 を先にインストールしてください。

- (1) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (2) 【Setup.exe】を実行してください。
※【Setup.exe】の所在については、「2.1.準備するもの」のインストール媒体の構成図を参照してください。32ビット OS と 64ビット OS では使用する【Setup.exe】が異なりますので、ご使用の OS にしたがって選択してください。

実行すると下記画面が表示されますので、**次へ(N)** を押してください。



図 4 インストーラ準備画面

- (3) インストール先のフォルダを指定します。
指定したフォルダ配下に “HA¥StorageSaver” フォルダが作成され、
各ファイルがそのフォルダにインストールされます。
デフォルトのインストール先フォルダは、Windows がインストールされているドライブ
(%WINDIR%)の Program Files フォルダ、通常は “C:¥Program Files” です。
デフォルトの設定でインストールする場合は、**次へ(N)** を押してください。

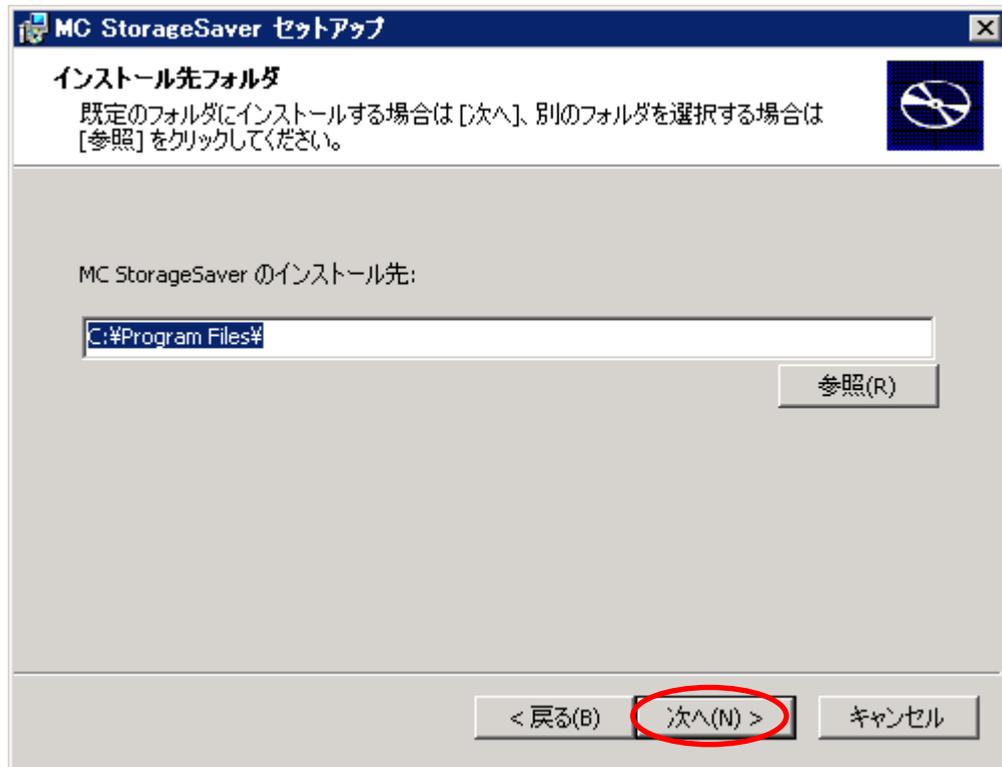


図5 インストール先のフォルダ表示画面

インストール先を変更する場合は、直接インストール先を入力するか **参照(R)** を押してください。
参照(R) を押した場合、下記画面が表示されます。
インストールするフォルダを入力もしくは選択して、**OK** を押してください。

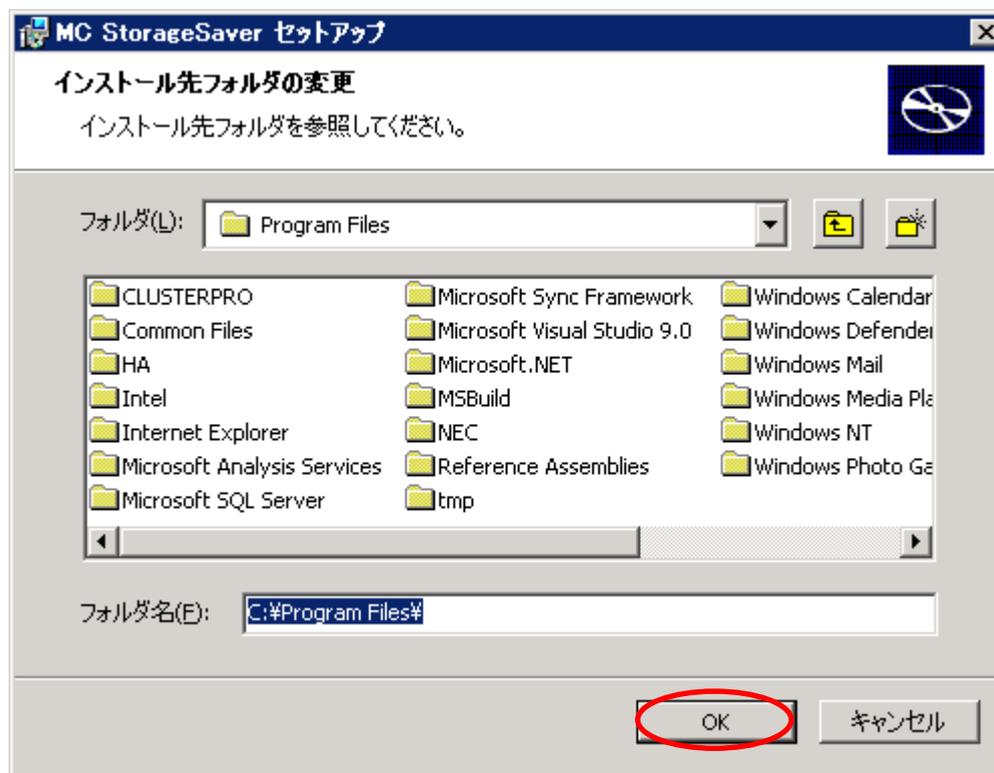


図6 インストール先のフォルダ変更画面

注意 インストール先のフォルダには、ネットワークドライブ上のフォルダは指定できません。必ずローカルドライブ上のフォルダを指定してください。

- (4) **インストール(I)** を押してインストールを開始してください。

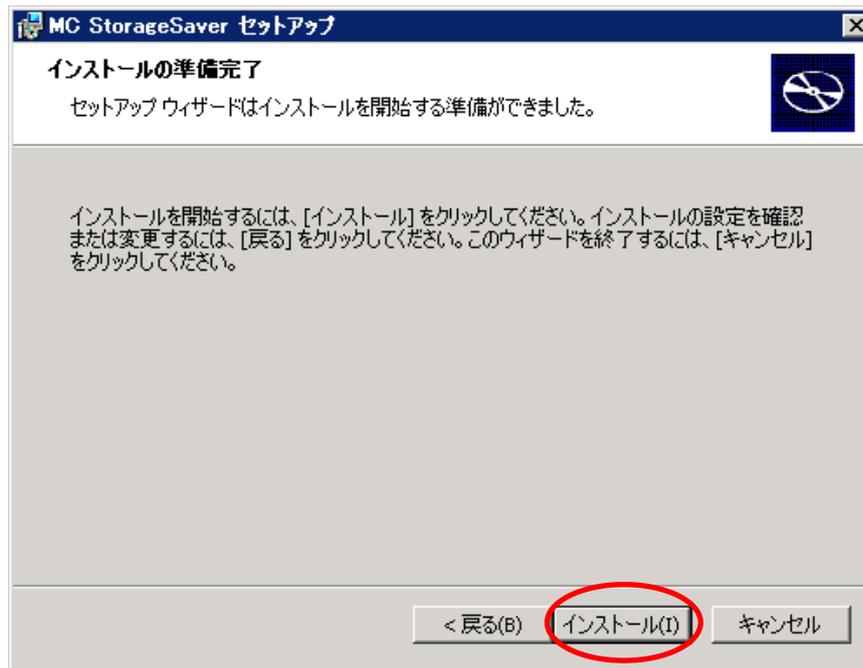


図7 インストール開始画面

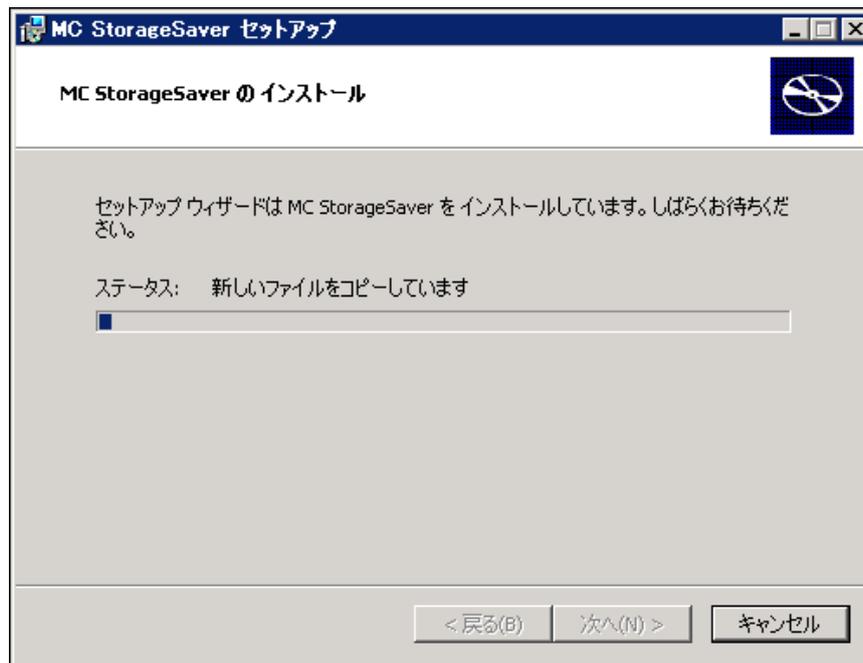


図8 インストール中の状態

- (5) 本製品のインストールが完了し、下記画面が表示されます。
完了(F) を押して【Setup.exe】を終了してください。

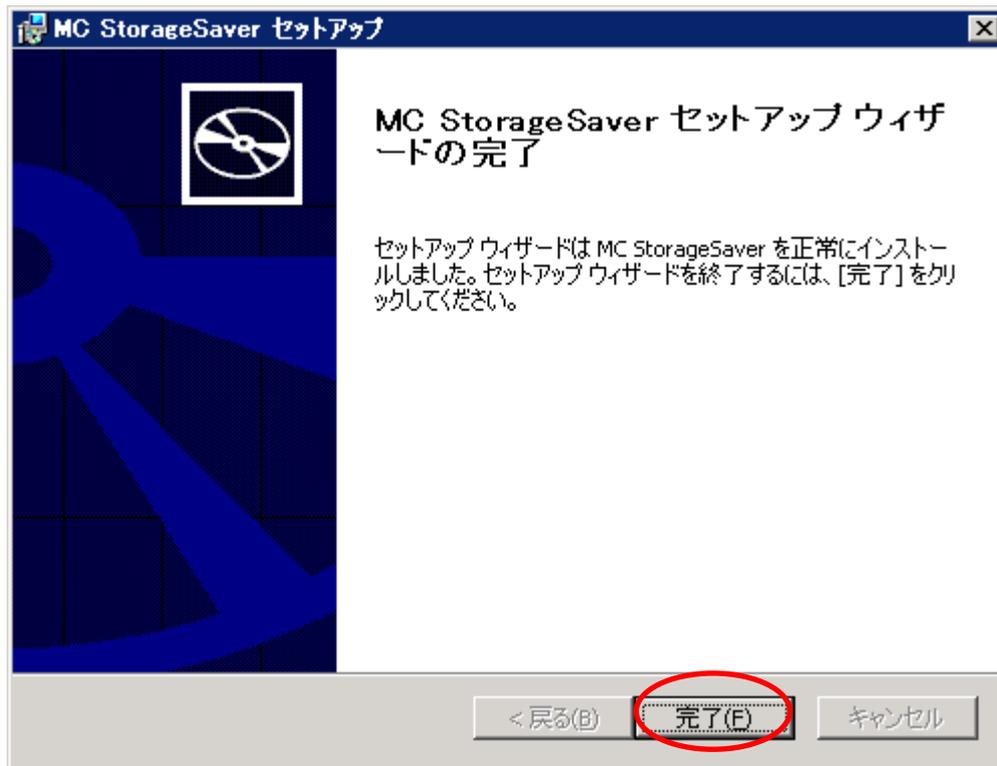


図9 インストール完了画面

以上で、本製品のインストールは終了です。

3.2. インストール後の確認

- (1) 『プログラムと機能』で本製品がインストールされていることを確認してください。

[スタート] メニュー – [コントロール パネル] – [プログラムと機能]

上記手順により、『プログラムと機能』を表示します。

一覧に [MC StorageSaver] が登録されていることを確認してください。

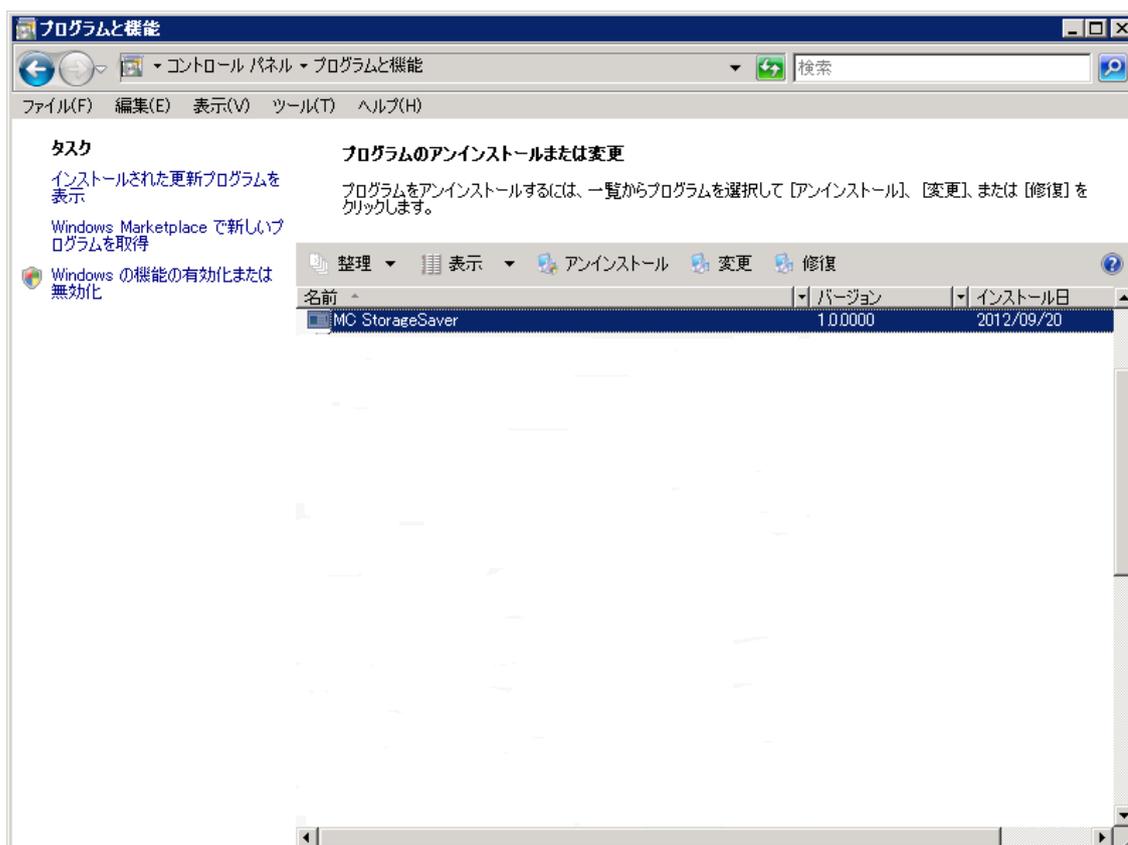


図 10 『プログラムと機能』

(2) 『サービス』に本製品のサービスが登録されていることを確認してください。

[スタート] メニュー - [コントロール パネル] - [管理ツール] - [サービス]

上記手順により、『サービス』を表示します。『サービス』で表示される内容が下記と同じことを確認してください。

- ・ [名前]: [HA StorageSaver]
- ・ [スタートアップの種類]: [自動]

- ・ [名前]: [HA StorageSaver Srgwatch]
- ・ [スタートアップの種類]: [自動]

注意 インストール直後には、サービスを自動起動しません。設定ファイルの設定後、個別にサービスを起動してください。
設定ファイルの設定やサービスの起動については、「CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Windows ユーザーズガイド」を参照してください。

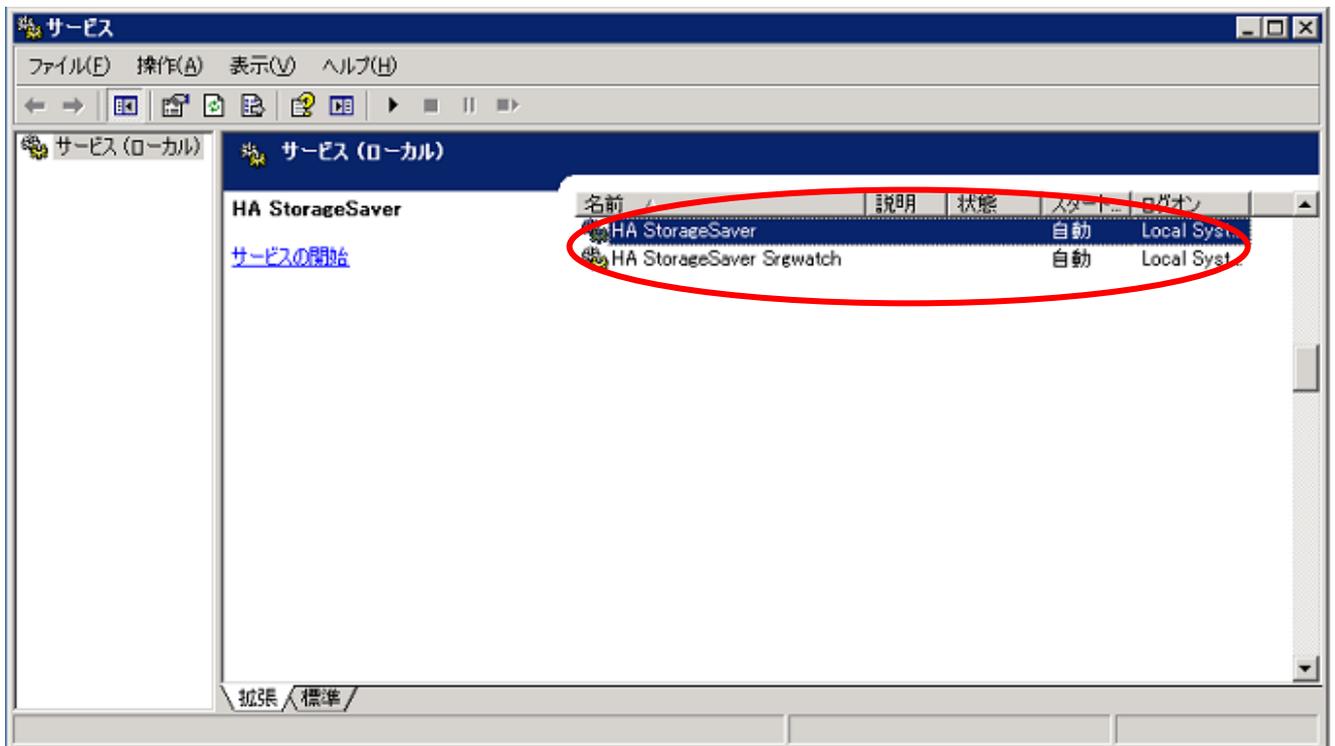
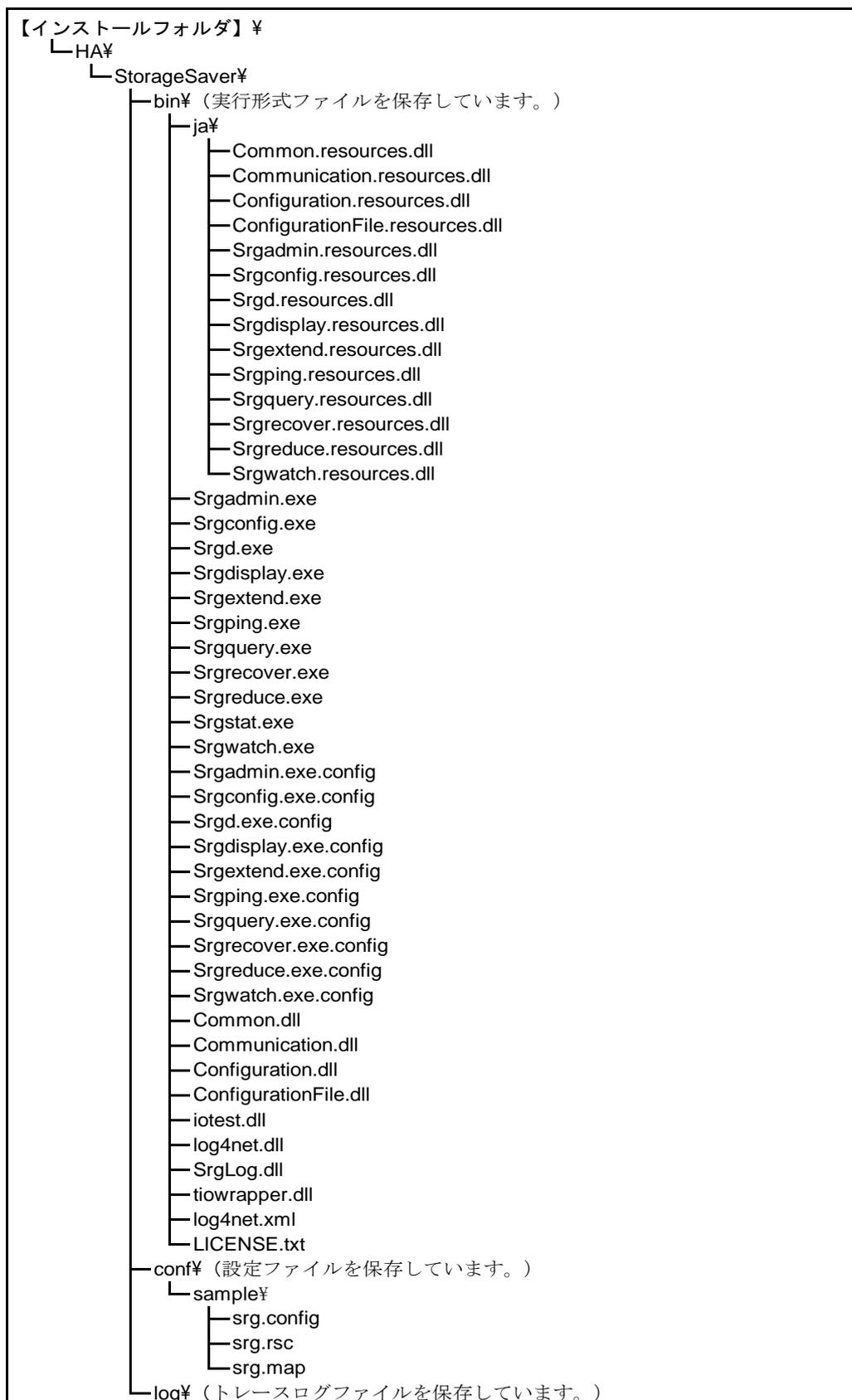


図 11 『サービス』

3.3. ファイル構成

下記のとおり本製品がインストールされていることを確認してください。
※【インストールフォルダ】のデフォルトパスは、“C:¥Program Files” です。



4. 本製品の初期設定

4.1. 事前準備

StorageSaver で監視するストレージ上のディスクが OS 上で使用可能な状態でかつドライブレターが付与されている必要があります。

4.2. 設定ファイルの自動生成

Srgquery コマンドを実行して、監視に必要な 設定ファイルを自動生成します。
オプションの詳細な指定方法については、「CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Windows ユーザーズガイド」を参照してください。

注意 iStorage StoragePathSavior 5.0 for Windows を使用する場合、Srgquery コマンドの実行に管理者権限が必要となります。
詳細については、「CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Windows ユーザーズガイド」の「8.1 注意・制限事項」を参照してください。

4.3. 設定ファイルの適用

Srgquery コマンドで自動生成した 設定ファイルを Srgconfig コマンドで実行環境に適用します。
オプションの詳細な指定方法については、「CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Windows ユーザーズガイド」を参照してください。

4.4. StorageSaver の起動

HA StorageSaver サービスを起動し、StorageSaver による監視を開始します。

4.5. StorageSaver の監視サービスを起動

StorageSaver の起動確認後、HA StorageSaver サービスを監視するサービスを開始します。

以上で、StorageSaver の初期設定は完了です。

5. 本製品のアンインストール

5.1. ファイルのバックアップ

設定ファイルやログファイルが必要な場合は、事前にバックアップしてください。
バックアップ対象のパスは下記のとおりです。

設定／ログファイル

【インストールフォルダ】\HA\StorageSaver 配下

・conf

設定ファイルを保存しています。

・log

トレースログファイルを保存しています。

※【インストールフォルダ】のデフォルトパスは、"C:\Program Files" です。

補足 インストール後に作成されたフォルダやファイルは削除されません。

5.2. アンインストール

本製品のアンインストール手順について説明します。

注意 ・アンインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。

- (1) 本製品を起動している場合は、本製品のサービスを [HA StorageSaver Srgwatch]、 [HA StorageSaver] の順に停止してください。
- (2) 下記手順により本製品のアンインストールを行います。
[スタート] メニュー - [コントロール パネル] - [プログラムと機能] を選択してください。
- (3) 『プログラムと機能』が表示されますので、 [MC StorageSaver] を選択し、**アンインストール** ボタンを押してください。

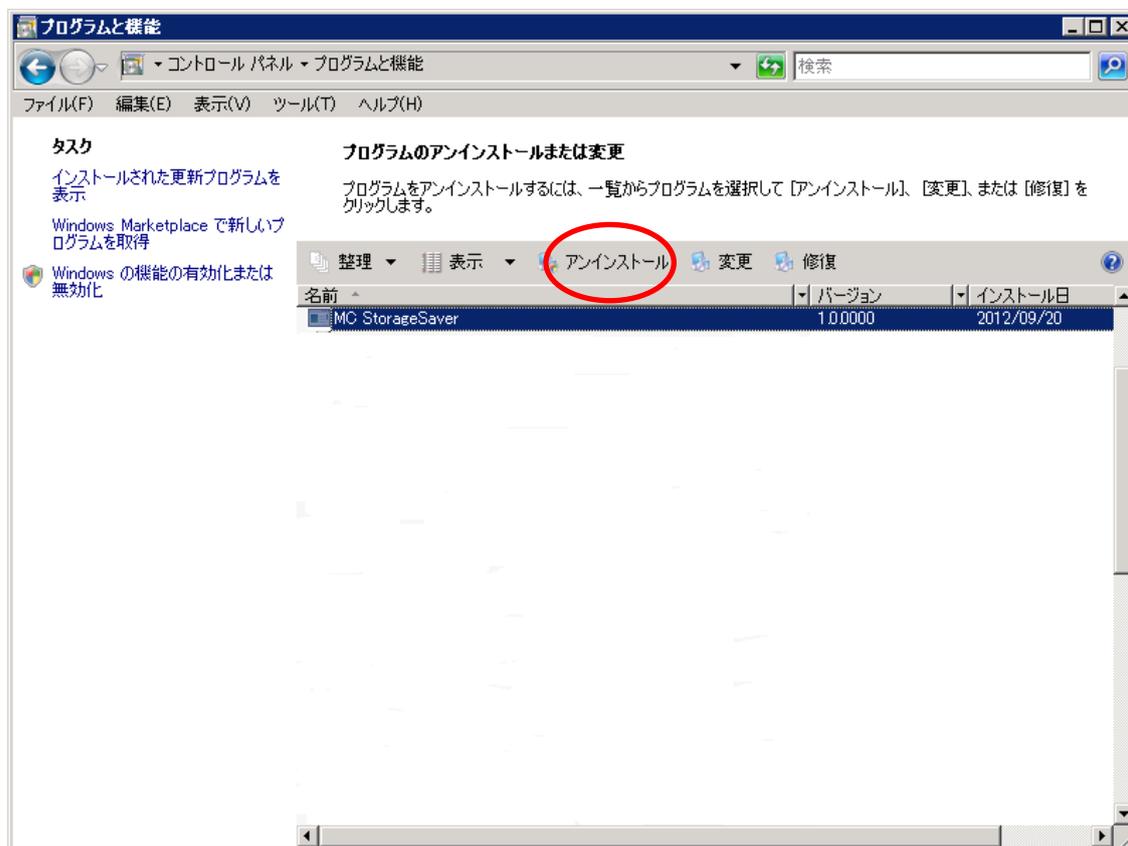


図 12 『プログラムと機能』

- (4) **アンインストール** ボタンを押すと下記画面が表示される場合があります。
はい(Y) を押すと本製品のアンインストールが開始されます。

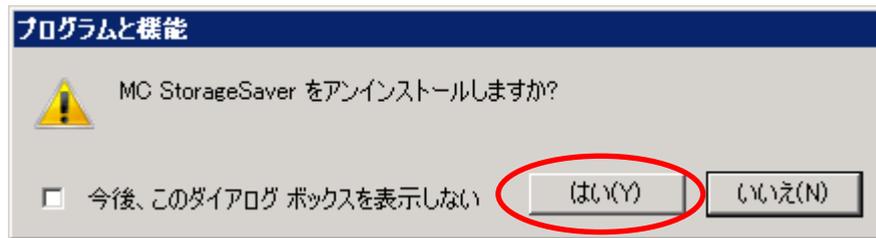


図 13 削除確認画面

- (5) 不要なファイルを削除します。
アンインストールにより削除されるのは、インストール時に作成されたフォルダおよびファイルのみです。
設定ファイル・ログファイルなど運用時に作成されたファイルについては、削除されません。
これらのファイル(インストールフォルダ配下) が不要な場合は、削除してください。

注意 上記アンインストール作業では、下記のソフトウェアは削除されません。

- ・ Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1
- ・ Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack

以上で、本製品のアンインストールは終了です。

6. 注意・制限事項

6.1. 注意事項

- インストールおよびアンインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。
- OS 上に Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていない状態で、本製品をインストールしようとした場合、「.Net Framework 3.5 がインストールされていません。」というメッセージが出ます。必ず、事前に Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 をインストールしてください。
- インストール先のフォルダにはネットワークドライブ上のフォルダを指定できません。必ずローカルドライブ上のフォルダを指定してください。
- インストール後、本製品のサービスは自動で起動しません。設定ファイルの設定後、個別に起動してください。
- アンインストールを開始する前に、本製品のサービスを終了させてください。
- インストール後に編集したファイルは、アンインストール時には削除されません。不要な場合は、アンインストール後、別途削除してください。
- 『サービス』を表示したまま本製品のアンインストールを行うと、まれに [HA StorageSaver] サービスが削除されない場合があります。最新の状態に更新を行っても削除されない場合は、コンピュータを再起動してください。

6.2. 制限事項

なし

CLUSTERPRO
MC StorageSaver 1.0 for Windows
インストールガイド

2013年3月 第2版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03) 3454-1111 (代表)



© NEC Corporation 2013

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙